

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と 学校規模の適正化検討委員会ニュース

発行日：平成 28 年 4 月 14 日

発行：検討委員会事務局

第 9 回検討委員会 開催

☆平成 28 年 3 月 24 日（木）午後 7 時から
大正小学校 図書室

1 はじめに

- ◇第9回検討委員会では、深谷台小学校で開催した保護者説明会の様子や教育委員会等に提出されている請願書等への対応状況について、事務局から報告しました。
- ◇また、「検討委員会宛てに提出された請願書への対応」、「統合校の通学区域」、「学校名の決め方」、「関係校の交流事業」について検討・確認を行いました。

- **各自治会・町内会の通学区域案に対する意見を集約し、次回検討委員会で検討することとなりました。**
- **学校名の案をアンケートにより公募し、その結果を参考に検討委員会にて検討することを確認しました。**
- **平成 29 年 4 月の統合校開校に向けて、関係校の交流事業を進めることを確認しました。**

2 事務局からの報告事項

(1) 教育委員会への請願について

第 8 回検討委員会以降、新たに 3 件の請願書が提出されました。

(2) 深谷台小 保護者説明会の開催について（平成 28 年 3 月 17 日 深谷台小学校 音楽室）

これまでの検討経過や現在の検討状況などについて事務局から説明しました。参加者から「今後の関係校との交流事業はどう行うのか」などの質問があり、学校長が一例として、「学年間の交流事業で総合学習の時間などを活用して、まち歩きを行うなど、お互いの地域のことを知り合える取組」などを行うことが考えられると回答しました。

(3) 俣野町内会への説明について（平成 28 年 3 月 20 日）

第 8 回検討委員会で提示した 3 つの通学区域案について事務局から説明しました。「想定通学路案がないと通学区域の検討は難しい」などの御意見がありました。

3 検討委員会での主な質問・発言（★委員 →事務局）

※同じ数字は同じ委員からの発言

（検討委員会に提出されている請願書について）

事務局案のとおり回答することを確認しました。

★1 統合校が小規模校化した場合は、再び学校統合の対象となるのですか？

→ 横浜市では、子どもが新しい友達と出会うことで自ら成長することや、一定規模の学級で意見交換を行うことで子どもが自発的に学ぶ姿勢を育むことなどを目的として、適正な学校規模の維持に努めています。

そのため、仮に統合校が小規模校となることがあれば、再び学校統合を実施する可能性はあります。

ただし、学校統合は子どもにとって大きなことですので、今回の学校統合を経験する子どもに、2 回目の学校統合を経験させることは避けたいと考えています。

（通学区域について）

★2 保護者の方に話を聞くと、「案 3：一部区域で通学する学校を統合校と大正小から選択できる」がいいのではという意見が多くなっています。

★3 統合校に通学を希望する方が多いですが、クラブ活動などを理由に大正小への通学を希望される方が一部にいます。そのため、「案 3」が良いと思います。

★4 保護者の方の多くが大正小への通学を希望していますが、統合校への通学を希望する方も一部にいます。そのため、「案 3」が良いと思います。

- ★5 私の自治会は大正小を指定校とすることを希望しますが、検討委員会の結論として「案3」になるのであれば、それでもいいと思います。
- ★6 当該地域にお住まいの方が望まれるのであれば、「案3」でもいいと思います。ただし、年度によって地域から通学する児童数が大きく異なると、学校の受入も大変だと思いますので、最終的にはいずれかの学校を指定するべきだと思います。
- ★7 私も「案3」が良いと思いますが、最終的にはいずれかの学校を指定するべきだと思います。
- ★8 「案3」を推す意見が多いですが、子どもと地域と学校の繋がりを大事にすることを考えると、いずれかの学校を指定するべきだと思います。
- ★9 統合校の使用校舎は現在の深谷台小になるので、通学区域は俣野小の保護者の方の意向に沿うような形になればと思います。
- ★1 俣野町の全域を、「通学する学校を統合校と大正小から選択できる区域」にすることは可能ですか？
まずは、俣野町の全域を「選択できる区域」とするべきだと思います。その後、町内会で検討を行い、必要に応じて細かい区域ごとにいずれかの学校を指定するべきだと思います。

→ 俣野町の全域を「選択できる区域」とすることは制度的に可能ですが、地域の活動が行いにくくなることなどを考えると、「選択できる区域」は必要など限って、最小限に留めるべきと考えます。

- ★8 俣野町の全域を「選択できる区域」にすることには反対です。
- ★6 俣野町の保護者の方がどちらの学校を希望するか調査してから、通学区域を決めるべきだと思います。
- ★10 いただいた意見を踏まえて、次回の検討委員会で通学区域の案を提示したいと思います。

(学校名の決め方について)

→ 他の地域で実施した学校統合では、大きく分けて2つの方法で学校名を決めています。「① 学校名の案を児童や地域にお住まいの方からアンケートで公募する方法」と「② アンケートで公募を行わずに検討委員会のみで学校名を決める方法」です。

- ★1 子どもには学校統合を前向きに考えてほしいので、「① 学校名の案を公募する」べきだと思います。
- ★10 では、「① 学校名の案を公募する」ことに賛成の方は手を挙げてください。⇒賛成多数となりました。

(関係校の交流事業について)

→ 平成29年4月の統合校開校に向けて、関係校の交流事業を進めてまいります。必要に応じて地域の方にも協力していただきながら交流事業を実施していきたいと考えています。

- ★12 例えば、1～2年生の生活科では、「季節を探す」という授業があります。統合を機に同じ学校になる児童と一緒に春を探したり、秋を探したりすることでお互いに理解を深められると考えています。
- ⇒ 関係校の交流事業を進めることが確認されました。

【次回日程】 第10回「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化等検討委員会

平成28年4月25日(月) 19時から

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会では、皆様からのご意見を受け付けております。FAXかEメールで、事務局(学校計画課)までご連絡ください。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会事務局(学校計画課)

電話：045-671-3252 FAX：045-651-1417 Eメール：ky-totsuka@city.yokohama.jp

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はインターネットでも見ることができます。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>

横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>